

会社概要

会 社 名	沖縄セルラー電話株式会社
設 立	1991年6月1日
事 業 の 内 容	電気通信事業
本 社	沖縄県那覇市松山1丁目2番1号
資 本 金	1,414,581千円

役員

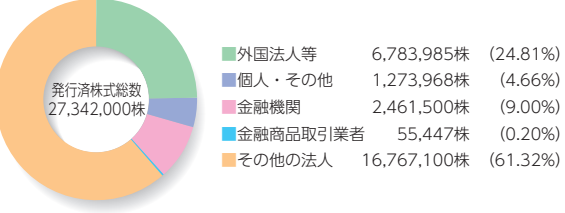
取締役相談役	稲 盛 和 夫
代表取締役会長	知 念 榮 治
代表取締役社長	北 川 洋
常務取締役	仲 宗 根 朝 整
常務取締役	仲 地 正 和
取締役	友 利 正 克 輝
取締役	小 禄 邦 男
取締役	當 眞 嗣 吉
取締役	小 野 寺 正 誠
取締役	高 石 川 雄 三
常勤監査役	山 本 忠 司
常勤監査役	嵩 元 盛 兼
監査役	安 里 昌 利
監査役	嘉 手 苅 義 男
監査役	金 城 棟 啓

株式状況

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
K D D I 株 式 会 社	14,086,000	51.51
ビーエヌピー パリパセック サービス ルクセンブルグ ジャス デック アパディーン グローバル	1,436,200	5.25
ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー	1,008,200	3.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	744,700	2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	729,900	2.66
ステート ストリート バンク アンドトラストカンパニー 505224	654,000	2.39
ノーザンスト カンパニー(エイブイエアシー)アカウン トトリティー	594,600	2.17
株 式 会 社 沖 縄 銀 行	472,000	1.72
沖 縄 電 力 株 式 会 社	472,000	1.72
琉 球 放 送 株 式 会 社	472,000	1.72
オ リ オ ン ビ ー ル 株 式 会 社	472,000	1.72

株式分布状況



第24期 中間株主通信

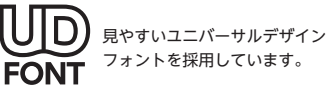
(2014年4月1日から2014年9月30日まで)

株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所JASDAQ市場
公 告 方 法	電子公告 (URL http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html) ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

お問い合わせ

〒900-8540 沖縄県那覇市松山1丁目2番1号
沖縄セルラー電話株式会社 総務部
098-869-1001 (代表)
<http://www.au.kddi.com/chiiki/okinawa/index.html>



証券コード：9436

沖縄セルラー電話株式会社

株主の皆さまへ



代表取締役社長 北川 洋

株主の皆さまには日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。
当社の2015年3月期第2四半期の業績につきましてご報告申し上げます。

当四半期決算（第1四半期～第2四半期）につきましては、営業収益が前年同期比5.6%増の282億円、営業利益が23.8%増の62億円となりまして、増収増益となりました。
主力のau携帯電話は、9月末の総契約数が前年同期比4.0%増の61万4,500契約となりました。また固定通信のauひかりちゅらは、9月末で34.4%増の49,100回線となりました。
これは、auひかりちゅらのご契約を条件にスマートフォン利用料を割り引くauスマートバリューを始めとした、「移動」と「固定」の融合施策、沖縄3M戦略が着実に進展し、「移動」、「固定」の双方で多くのご支持をいただけたことによります。

お陰様で10月にはauひかりちゅらが5万回線を突破するなど、引き続き順調な業績推移となっておりますが、通信業界では、年度末にかけてNTT東西による光回線の卸販売が開始されることが発表されております。他社も携帯電話と固定通信のセット販売をすることが可能となりますことからお客様獲得に向けた戦いは激しさを増すことが予想されますが、当社は「地元で全力！」のキャッチフレーズのもと、より一層地元でフォーカスしたサービスの充実を図り、通期の業績目標の達成に向けて着実な事業運営に取り組んでまいります。

今後も、全てのお客様にauで良かったと感じていただけるよう全社一丸となって取り組み、県内唯一の総合通信事業者として沖縄の情報通信市場の発展に貢献してまいります。
株主の皆さまにおかれましては、引き続き、ご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2014年12月
代表取締役社長 北川 洋

財務ハイライト

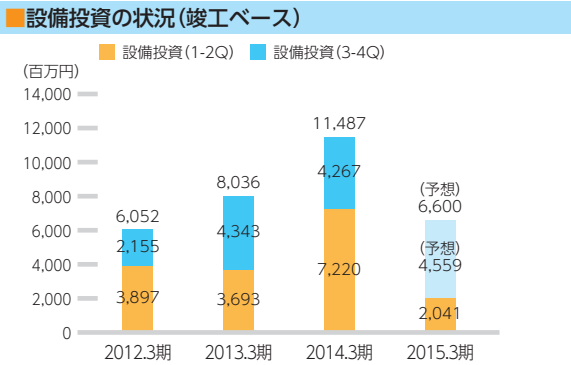
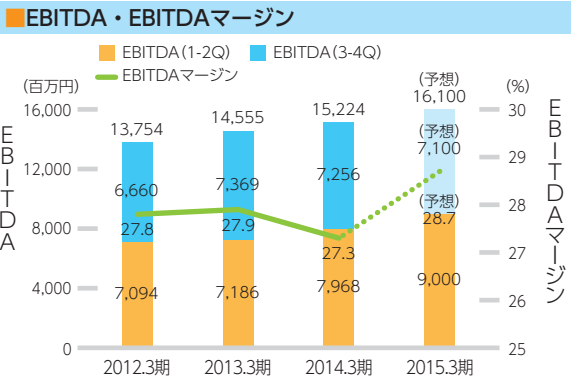
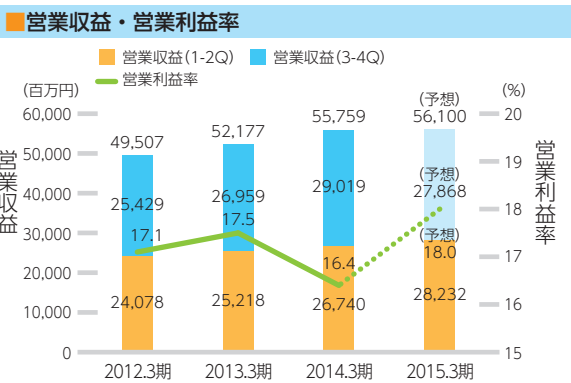
経 営 実 績	(百万円)		
	2015.3期 1-2Q(連結)	2014.3期 1-2Q(連結)	増減率(%)
営業収益	28,232	26,740	+5.6
営業利益	6,265	5,062	+23.8
経常利益	6,285	5,102	+23.2
四半期純利益	4,112	3,209	+28.2

EBITDA	9,000	7,968	+12.9
設備投資	2,041	7,220	▲71.7

財 務 状 況	(百万円)		
	2015.3期 2Q末(連結)	2014.3期末 (連結)	増減率(%)
総資産	70,181	68,194	+2.9
有利子負債	1,247	1,500	▲16.9
純資産	59,029	55,821	+5.7

1株当たり情報	(円)	
	2015.3期 1-2Q(連結)	2014.3期 1-2Q(連結)
四半期純利益	150.42	117.38
中間配当金	42.00	39.50

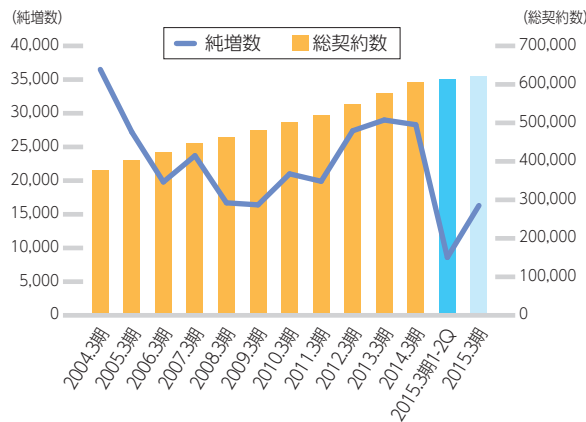
(注) 1-2Q：4月1日～9月30日
2Q末：9月30日
3-4Q：10月1日～翌3月31日



【サービスデータの状況】

	前年同期比較				対通期予想比較	
	2014.3期 1-2Q実績 (A)	2015.3期 1-2Q実績 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)	2015.3期 予想 (B')	進捗率 (B/B')
純増数	13,400	8,600	▲4,800	▲35.4%	16,300	53.0%
総契約数	590,900	614,500	+23,600	+4.0%	622,200	—
携帯電話総販売数	(台) 88,600	83,900	▲4,700	▲5.3%	164,600	—
端末出荷台数	(台) 86,200	81,600	▲4,600	▲5.3%	157,000	52.0%
総合ARPU	(円) 4,812	4,960	+148	+3.1%	—	—
内au通信ARPU	4,680	4,776	+96	+2.1%	4,720	—
内付加価値ARPU	132	184	+52	+39.4%	—	—

au 契約数・純増数の推移



当四半期においては、auのラインナップとサービスの充実、ネットワーク品質の向上等、お客さま重視のサービスに取り組んだ結果、前年同期と比較して総契約数が23,600契約増加（4.0％）し、当四半期末では614,500契約となりました。

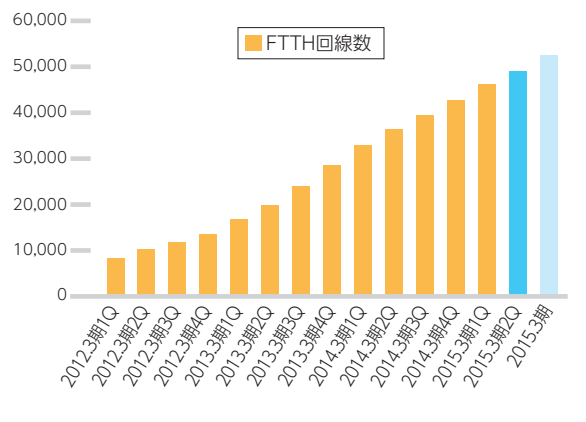
(注) ARPU（Average Revenue Per Unit）：1契約あたりの月間平均収入。定義については以下のとおり。

1. 総合ARPU：au通信ARPU＋付加価値ARPU
2. au通信ARPU：音声ARPU＋データARPU＋割引適用額
3. 割引適用額：「毎月割」、「auスマートバリュー」の割引適用額
4. 付加価値ARPU：自社・協業サービス＋決済手数料＋広告

【サービスデータの状況】

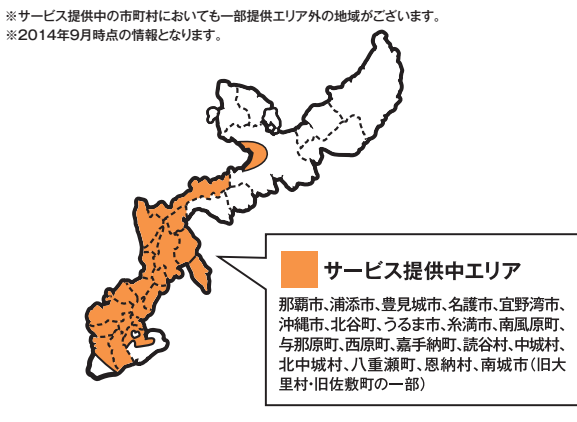
	前年同期比較				対通期予想比較	
	2014.3期 1-2Q実績 (A)	2015.3期 1-2Q実績 (B)	増減 (C=B-A)	増減率 (C/A)	2015.3期 予想 (B')	進捗率 (B/B')
純増回線数	8,100	6,300	▲1,800	▲22.5%	9,800	64.2%
累計回線数	36,500	49,100	+12,600	+34.4%	52,600	—
ARPU	(円) 4,982	4,994	+12	+0.2%	4,930	—

FTTH回線数の推移



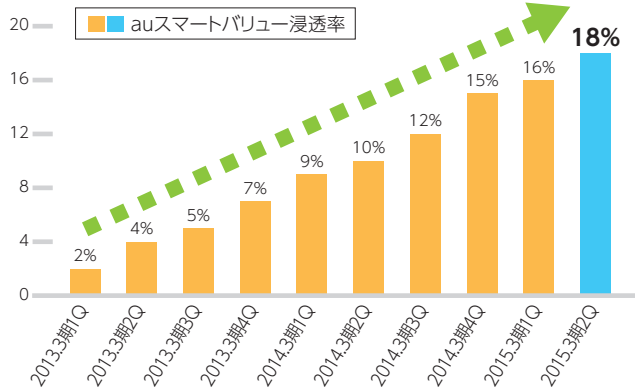
当四半期も、沖縄3M戦略の着実な進展により、前期と比較して回線数が12,600契約増加（34.4％増）し、当四半期で49,100回線となりました。2010年3月のサービス開始より現在に至るまで契約回線数は順調に伸びています。

au ひかり ちゅらのサービス提供エリア



スマートバリューの状況

auスマートバリュー浸透率



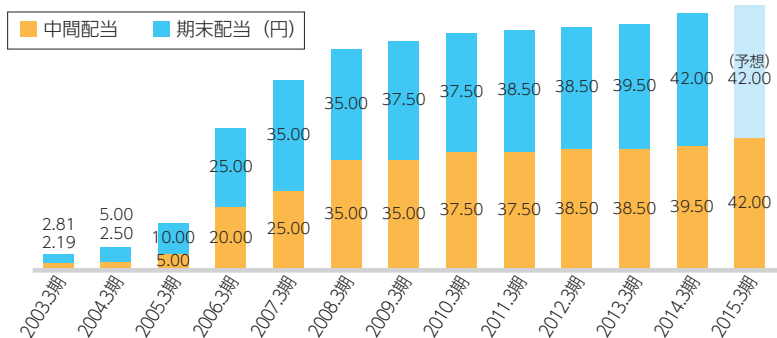
沖縄3M戦略は、総合通信事業者として移動体通信と固定通信の融合を目指す、沖縄セルラーの重要戦略です。auひかりちゅらのご契約を前提にスマートフォンの利用料を割り引くauスマートバリューは、その1つです。

沖縄3M戦略により、「スマートフォン売上の最大化」→「auひかりちゅら獲得の最大化」→「データオフロード実現によるネットワークコストの最適化」→「世帯まるごとauの最大化」という好循環を生み出し、盤石な事業基盤の確立を目指します。

(注) 1. 3Mとは、「マルチユース」、「マルチネットワーク」、「マルチデバイス」の頭文字です。
2. 「スマートバリュー」はイーエムシー株式会社の登録商標です。
3. auスマートバリュー浸透率（分子）auスマートバリュー契約数（モバイル）（分母）au契約数からデータ専用端末、モジュールを除く

配当金の状況

1株当たり配当金の推移



当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要事項の一つと認識しており、今後の事業展開に備えるための内部留保や財務体質の強化を勘案しつつ、安定配当を継続的に行うことを基本方針としております。

(注) 1. 2004年11月、2005年9月に株式2分割を実施（配当据え置き）しております。
2. 2012年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき100株の割合で株式分割しております。

トピック

沖縄セルラービルは、社員参加型の移転プロジェクトとして意欲的に取組んだ熱意が評価され、九州ブロックで九州経済産業局長賞を受賞いたしました。3事業所に分散していた事業所を新本社に移転を機に「Change／人が変わる・仕事が変わる」というテーマでワーキンググループ活動を実施し、社内会議室、食堂、新しい受付、休憩室など社員発案として、オフィスに反映されています。沖縄セルラービルのオフィスコンセプトをご紹介します。

第27回日経ニューオフィス賞にて九州経済産業局長賞を受賞しました



■沖縄セルラービル オフィスコンセプトとファシリティへの展開

自己変革支援 (ジブンゴト化)	一人ひとりが自らチャレンジ&チェンジし、成長していくことをサポートするオフィス	仕事の内容に応じて働く場を選択できるゾーニング計画等
連携の強化	多様なメンバーがボーダーレスにコミュニケーションを取れるオフィス	交流を加速させる内部階段の設置や見える化の推進
調和の推進	お客様・県民・地域・環境・社員などステークホルダーに対して安心と信頼を与えることのできるオフィス	ホスピタリティ溢れる空間づくりと社会・環境への配慮
効率の追求	機能的かつ効率的に仕事ができるフレキシビリティの高いオフィス	組織変更への柔軟な対応と効率的なICTを装備したオフィスづくり

「お客様満足度の向上⇄社員満足度の向上⇄よりクリエイティブな働き方の推進」をかたちにする

自己変革支援 (ジブンゴト化)	●仕事の内容に応じて働く場を選択できるゾーニング ●フラックな雰囲気です仕事ができる空間デザイン ●創造的な議論をするための多彩な会議エリア	●人・仕事・環境の見える化を意識したデザイン ●社員の帰属意識を高める企業文化の表出化 ●部門の壁をなくす内部階段と交流エリアの充実	連携の強化
グループフリーアドレスで運用している執務フロアー	様々なスタイルの会議室	内部階段周辺の交流スペース	交流を加速させるゾーニング計画 執務エリアの真ん中に内部階段、コピー・作業エリアコミュニケーションエリアを配置
VIPの来訪に対応した8F応接エリア	地域に開放され、沖縄らしさに配慮したエントランス	天気の良い日は外で食事のできるテラス	 内部階段 柔軟性の高いレイアウト コピー・作業エリア 外気を感じられるリフレッシュスペース 自由なワークスタイルをサポートする窓側エリア
調和の推進	●心身共に健康に働くための共有空間の充実 ●お客様・関係者へのホスピタリティを大切にしたいエントランスや役員エリアの運用と空間デザイン	●組織変更・人員増減に柔軟に対応できるユニバーサルプランと新しいワークスタイルの導入 ●モバイルワークをサポートするデバイスの導入	効率の追求